学校番号	408

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「楽器を演奏すること」「音楽を聴くこと」を年間を通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています

2　学習の到達目標

・音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせながら、個性豊かに表現を創意工夫したり、お互いの演奏を評価して聴いたりする能力を育成する。

【知識・技能】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な基本的な発声、奏法、身体の使い方などの技能を身につける
【思考・判断・表現】
自己のイメージをもって創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
【主体的に学習に取り組む態度】
主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、音楽の生活や社会の中の音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情をもって演奏したり鑑賞することで、感性を高め、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。知識 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。技能	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	弾き語りに挑戦	【ギター弾き語り】	a: 【知】曲想と音楽の構造との関わり，曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びそれらの関わりによって生み出される表現上の効果，様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解している。 【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な，曲にふさわしい奏法や身体の使い方などの技能，他者との調和を意識して演奏する技能，表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能を身に付け，器楽で表している。〃 b: 音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，個性豊かに器楽表現を創意工夫している。	発表	発表	発表 観察 ワークシート

			c:ギターの奏法を身に付け高めることや，音楽の嗜好や技能の習熟度に応じた教材を選択し，個性豊かに器楽表現を創意工夫しながら弾き語り活動をすることに関心をもち，主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。			
	アンサンブルをしよう	【リコーダー】	a: 【知】曲想と音楽の構造との関わり，曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びそれらの関わりによって生み出される表現上の効果，様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解している。 【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な，曲にふさわしい奏法や身体の使い方などの技能，他者との調和を意識して演奏する技能，表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能を身に付け，器楽で表している。〃 b: 音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，個性豊かに器楽表現を創意工夫している。 c: リコーダーの奏法を身に付け高めることや，音楽の嗜好や技能の習熟度に応じた教材を選択し，個性豊かに器楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動をすることに関心をもち，主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	発表	発表 観察	ワークシート

2	演奏会を開催	グループを作成し、演奏する。 それらを発表する演奏会を開催する。	a:【知】様々な表現形態による器楽表現の特徴、音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響きなどの特徴及び構成上の特徴について理解している。また、音楽の特徴と、文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりを理解している。 【技】表現形態の特徴を生かして演奏する技能、他者との調和を意識して演奏する技能、反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身につけ、器楽で表している。 b:リズム、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏、創作するかについて表現意図をもっている。 c:身近なものを使って音を出すことに関心を持ち、グループで楽しみながら、主体的・協働的に器楽・創作の学習活動に取り組もうとしている。また、世界の様々なリズムや表現方法に興味を持ち、主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	発表 ワークシート	発表 ワークシー	ワークシート 観察
			【鑑賞】 a: 【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりを理解している。 b:音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。 c:管弦楽で扱われる楽器の音色に関心をもち、印象に残る音楽にはどのような特徴があるのかを考えながら、主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシートト	ワークシート

3	合唱をしよう	選択者全員で合唱し、1 つの曲を完成させる	a:【知】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。 【技】他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身につけ表している。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:クラス全体で演奏する楽しさに関心をもち、きれいなハーモニーを作る難しさ、それを達成できた時の喜びを感じながら、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 発表 ワークシート	観察 発表 ワークシート	発表 ワーク

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度